



▲蓼川のどんど焼き

1月12日、蓼川神社の境内で蓼川自治会恒例のどんど焼きが行われ、約200人が参加しました。綾北分団員が見守る中、お正月の飾りや書き初めなどに点火。集まった参加者は、竹ざおに刺した団子を焼き、焼きたての団子を食べ、楽しいひとときを過ごしました。 【大滝 隆司】



▲富士の朝焼け

空気がきれいな冬は、富士山がきれいに見えます。市内にも絶景のポイントがあり、大いに楽しませてもらっています。朝焼けは、空からピンクのベールが降りてくることから始まります。やがて富士山が真っ赤に染まっていきます。1月18日、市役所の南側、東山公園の近くにて。 【段木 武】



署名記事は広報まちかど特派員から



▲一足早いひよこサロンの節分ごっこ

1月22日、早園地区センターでひよこサロンの節分ごっこが開催され、未就学児童と保護者25人が参加しました。子どもたちは、スタッフがふんした赤鬼・青鬼が登場すると紙で作った豆を投げ、「おには～そと！」と大きな声を上げていました。中には泣き出す子もいましたが、一足早い豆まきをみんなで楽しんでいました。 【福島 順一】



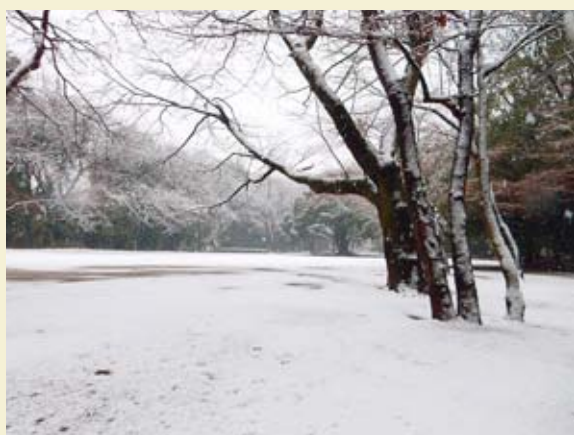
▲平山郁夫展に6075人が来場しました

1月15日～28日、市役所7階市民展示ホールで芸術文化鑑賞会「平山郁夫展 シルクロードから日本へ」を開催し、6075人が来場しました。来場者の大津誠さん(70歳、大上在住)は、「世界的に有名な作品を身近な場所で見ることができて、感激しています。作品の素晴らしさに、立ちすくむような思いがしました」と話しました。



▲あやせヤングロックコンサートを開催

1月17日、文化会館であやせヤングロックコンサート「Rock' n Rose AYASE」を開催しました。高校生で結成したロックバンド8組は、若さあふれるトークで盛り上げながら、オリジナル曲や人気バンドのコピー曲を熱演し、会場にいる約120人を沸かせました。



▲雪化粧の城山公園

1月30日、強い寒気に覆われ、明け方から雪が降り始めました。雪化粧となった城山公園は、鳥たちのさえずりも聞こえず、静まりかえっていました。 【高橋 元】



▲大地からの便り

2月12日、深谷中で大地からひょっこり顔を出しているフキノトウを見つけ、つついほほ笑んでしまいました。小さくともパワーをもらった気がします。 【馬場 正勝】



◀子どもたちが楽しく花を生けました

1月25日、中央公民館で伝統文化いけ花親子教室が開催されました。全10回のうちの最後の教室で、どの子もはさみや花の扱いに慣れた様子で花を生けていました。参加者には、受講修了証書が一人一人に授与され、全10回に出席した2人の子どものには花が贈られました。参加した子どもたちは「知らないお花のことを知れてよかった」「とても楽しかった。これからも続けたい」といった感想が多く聞かれ、笑顔の絶えない教室となりました。 【長谷川 智恵】



▲149チームが健脚を競いました

1月18日、新春恒例の市駅伝競走大会を開催しました。中学生男子26チーム、中学生女子12チーム、シニア8チーム、一般女子28チーム、一般75チームの計149チームが参加し、健脚を競い合いました。中学生女子の部1区の区間賞を受賞した綾瀬中学校陸上部Aの石田有希乃さんは「区間賞、そしてチームも優勝でき、今までがんばってきた成果が出せてうれしく思います」と話しました。



▲基地問題講演会に約160人が参加

1月24日、文化会館で市基地対策協議会(会長・笠間市長)が「基地問題講演会」を開催し、市民など約160人が参加しました。静岡県立大学国際関係学部教授の伊豆見元さんが北東アジアの国際関係と安全保障政策などについて、約2時間にわたり講演を行いました。